

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【公開番号】特開2010-279594(P2010-279594A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-135980(P2009-135980)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/00 3 5 0 S

A 6 1 B 6/00 3 5 0 A

A 6 1 B 6/00 3 5 0 P

A 6 1 B 6/00 3 3 1 E

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

まず、被検体に造影剤が注入され、造影剤が診断部位に行き渡るまでの透視画像を所定のレート周波数によって取得する。次に、各画素値の最小値を時間軸方向にトレースする処理、すなわちボトムトレース処理(ボトムホールド処理とも言う)を実行することにより、ロードマップ用マスク像を生成する。その後、カテーテル操作をしながら、実際のカテーテルを進めていく際のライブ画像を取得し、これとロードマップ用マスク像とを用いてサブトラクション処理をリアルタイムにて実行することで、透視ロードマップが作成・表示される。